

# 審査員長のご紹介

## 【書道コンクール審査員長】



日展理事 新井 光風

### 略歴

東京出身。  
1937年 3月10日生まれ。西川寧(やすし)に学ぶ。  
1966年 「山居早起」で新日展初入選。  
2000年 日展文部大臣賞受賞。  
2004年 「明且鮮(めいかつせん)」で芸術院賞、恩賜賞受賞。  
全日本書道連盟顧問/全国書美術振興会顧問/日展理事/  
大東文化大学名誉教授

### 揮毫・その他の執筆

- 標柱揮毫「全国戦没者之霊」(全国戦没者追悼式 1999年8月～)
- 揮毫「平和祈念碑」「追悼慰霊碑」二碑 (千鳥ヶ淵戦没者墓苑に立碑 2010年)
- 標柱揮毫「東日本大震災犠牲者之霊」(東日本大震災追悼式 2012年～)
- 箱根駅伝モニュメント台座「絆」揮毫 (石刻の原稿、読売新聞本社新社屋)
- 木看板揮毫「公益財団法人 日本武道館」  
(公益財団法人に移行するに伴う看板、日本武道館事務棟入口 2013年)
- 門標揮毫「成田山薬師堂」  
(大本山成田山新勝寺元本堂、江戸時代明暦元年建立薬師堂の門標)



### 主な作品

- ◇ 「龍神」(首相官邸 2005年展示)
- ◇ 「直如髪」(日展出品作/首相官邸 2009年～2016年8月展示)
- ◇ 「明星」(パリ在仏日本国大使館)
- ◇ 「顕明」(中国国家図書館)

### コンクール審査総評

JA共済全国小・中学生書道コンクールは、質の高さ、内容、数量ともに日本一のコンクールとして広く知られています。今回も期待どおりの素晴らしい作品ばかりで心に響くものがあり深く感銘を受けました。小・中学生の皆さんのコンクールによせる熱意と努力の累積が結晶した生き生きとした作品と対面できて嬉しく思います。審査会場に全国から集結した皆さんの作品は、JA共済の万全の準備と正確な記録、円滑な進行の下で一点一点大切に取扱い、審査は第一次、第二次、最終審査の順で、厳正かつ慎重に行われました。受賞された作品は、審査員全員から高い評価を得て、合議により選出決定されたものです。僅差で賞に入らなかった作品がいくつもあったことが惜しまれます。

小・中学生の皆さんが書写書道を愛し、文字を大切に一生懸命に書かれた美しい心に心からの敬意を表します。

審査員歴 18年

## 【交通安全ポスターコンクール審査員長】



アートディレクター  
クリエイティブディレクター 中島 祥文

### 略歴

名古屋出身。  
1966年 多摩美術大学卒業。  
J・W・トンプソンなどを経て  
1981年 ウェブクリエーションを設立。  
2001年 多摩美術大学グラフィックデザイン学科教授・学科長。  
2011年 多摩美術大学グラフィックデザイン学科名誉教授。  
朝日新聞社広告賞審査員/日本経済新聞社広告賞審査員/  
日本新聞協会広告賞審査員

### 主な仕事

- ◇ 渋谷ヒカリエ  
[ロゴデザインの開発。2012年開業のCM・グラフィックのキャンペーンを制作。]
- ◇ 東急プラザ  
[NEWロゴデザイン制作。表参道原宿店開業を機にリニューアル。]
- ◇ JR東日本VIEWカード  
[カードコンセプト、ネーミング、ロゴデザイン、カードデザインを制作。]
- ◇ ウールマーク  
[「触ってごらん、ウールだよ。」を始め、品質訴求キャンペーンからファッション訴求キャンペーンまで、約15年間担当。]
- ◇ サントリー・エルク  
[森の中のウイスキーをコンセプトに、ロゴ、ボトル&ラベルデザイン、雑誌広告を制作。]
- ◇ トヨタ ウィンダム  
[自動車の広告にリアリティを導入。レクサスイメージとともに独自性を発揮。]



### コンクール審査総評

皆さんの、交通安全への様々な思いを込めた作品が集まりました。その中で、審査を通過して受賞したどの作品にも当てはまることがあります。それは伝えたいことを強調して描かれていることです。伝えたいことを画面のどこにのせるか。伝えたいことをどの色で表すか。伝えたいことのために、どんな形や大きさにするかなどです。そこに思いきった言葉や絵がありました。思いきった勇気がみられました。事故を起こさないために何をしたらよいかを考えぬいて工夫したポスターが選ばれました。その思いきった考えが、人の心を打って、忘れられないものになっています。今年は特に、「歩きスマホ」をテーマにしたものが目立ちました。どのポスターも、その危険さをよく表現していました。皆さんのポスターが、歩きスマホをなくすことはもちろん、交通安全への力になるといいですね。

審査員歴 15年